

活動報告

団体名	NPO 法人さくらネット
活動名	熊本の子どもを応援～兵庫発！心のケア・防災教育推進プログラム～
活動期間	2016年4月～2017年3月
活動の成果	<p>学校再開に必要な物品支援から活動を始めました。学校に通い続ける中で、現状や課題を共有し、解決案を共に検討する機会が生まれました。また、子ども支援を行なう現地 NPO とも情報共有を継続し必要な支援の検討を続けました。その結果、子どもや地域の状況を踏まえ、必要なタイミングで研修会の開催や“こどもぼうさいまつり”の開催に至りました。活動の中では、安心感によりそうこの大切さ(トラウマ反応や心のケアを知る)と同時に、安全感を育むことが持つ力(災害の仕組みや備えを理解し、災害時対応ができるようになる防災学習の進め方を知る)についての情報提供に重きをおきました。子どもを見守る方々から少しずつ本音をうかがい、表情が変わっていく様子に手ごたえを頂きました。また「災害前に知りたかった」「子どもが安心して読める絵本がほしい」という現地の声から、トラウマ反応と回復プロセスを表現した絵本「しまうまのトラウマ」が完成し、現在、教職員や小児科医師、子ども支援関係者の研修で活用されています。防災学習を開始した学校や意欲的な学校、地域が増えつつあり、今後は現地の動きを後押しする支援を深めていきたいと考えています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、ご寄付をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>私たちは、被災地の子どもたち、保護者や教職員、応援する地域の方々とともに歩んできました。講師のみなさんにも積極的に現地入りして頂き、被災地において、「心のケアと一体的に進める防災学習」の取り組みが大切であり有効である事をわかりやすく伝えて頂きました。また、法人職員が何度も現地に通い、現地で自ら取り組もうとする動きが多数生まれました。「何をすればよいかわからなかったが、このような機会が必要だった」という声もいただきました。益城町で行なわれた“こどもぼうさいまつり”の開催後には、子どもたちから「ありがとう」の声が届くようになり、喜んでいます。</p> <p>これからも現地のみなさまの声に耳をかたむけ、寄付者のみなさまの思いをつなぎ、子どもたちや子どもたちによりそう大人の方々を応援を続けていきたいと思ひます。</p> <p>今後ともよろしくお願ひいたします。</p>

(活動のようす)

